

特別展 没後50年

大矢代幸雄と 大和文華館

— 芸術を愛する喜び —

2025年

4月12日[土]—5月25日[日]

前期 4月12日(土)–5月6日(火・振替休日)

後期 5月8日(木)–5月25日(日)

主催：大和文華館、近鉄グループホールディングス株式会社
共催：毎日新聞社

大和文華館 | 奈良・学園前

THE MUSEUM YAMATO BUNKAKAN | NARA · GAKUENMAE

[右]愛蔵品を眺める矢代幸雄 写真：個人蔵

[上]重要文化財 三彩貼花文壺 中国・唐時代 静嘉堂文库美術館 画像提供：(公財)静嘉堂/DNP artcom

[中]重要文化財 饗養文方盃 中国・殷時代 根津美術館

[下]国宝 婦女遊楽園屏風(松浦屏風) 左隻 江戸時代 大和文華館【前期展示】



初代館長 矢代幸雄による東洋美術研究の歩み
Yukio Yoda and the Museum Yamato Bunkakan at His 50th Death Anniversary: The Joy of Loving Art

国宝・重要文化財が
目白押し!



Yukio Yoda and the Museum Yamato Bunkakan at His 50th Death Anniversary: The Joy of Loving Art

大和文華館の初代館長を務めた矢代幸雄(1890-1975)は、イギリス・イタリアに留学してサンドロ・ボッティチェリ研究の名著を出版した美術史家であり、帰国後は日本での東洋美術研究に力を注ぎ、美術研究所(現・東京文化財研究所)の創立に関わり、その初代所長を務めたほか、文部省の依頼で日本美術を海外に紹介する展覧会事業に携わります。

戦後には近畿日本鉄道(現・近鉄グループホールディングス株式会社)の文化事業として美術館の構想と設立に奔走し、大和文華館は1960年に開館しました。矢代幸雄が蒐集した美術作品は、現在までコレクションの中核となっています。

大和文華館の所蔵作品は東洋古美術を主体としますが、矢代幸雄が東洋美術に造詣を深めた背景には、美術品蒐集家で

芸術家のパトロンでもあった原富太郎(三溪)との交流が大きく影響し、また、留学により国際的な視野から日本美術を強く意識したことが挙げられます。矢代幸雄は奈良や京都だけではなく中国へも幾度も訪れ、芸術作品を生み出した文化を肌で感じようと努めています。

2025年は矢代幸雄の没後50年にあたり、大和文華館では記念特別展を開催いたします。矢代幸雄が蒐集した初期のコレクションとともに関連する諸作品を展示し、矢代幸雄が美術へ注いだまなざしから、東洋美術研究の足跡と視点をたどります。

国宝・重要文化財が
目白押し!



国宝 婦女遊楽図屏風(松浦屏風) 江戸時代 大和文華館 【前期】

第一章 東洋美術との出会い——三溪のコレクションと交流関係

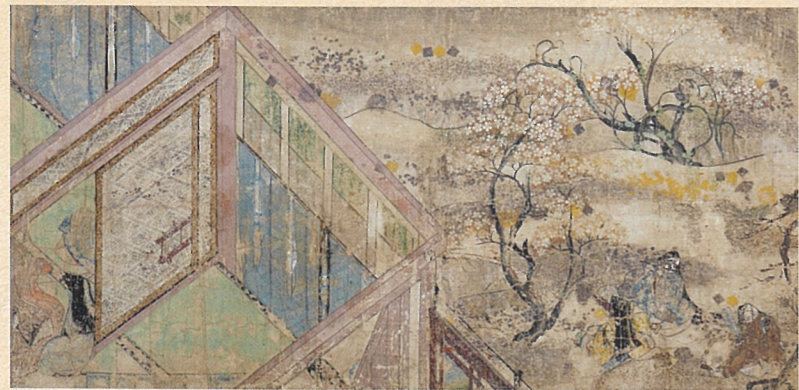
横浜生まれの矢代幸雄(1890-1975)は英語に親しみ、西洋美術研究を進める中で原三溪(1868-1939)と出会い、三溪の持つ珠玉の東洋美術コレクションと交流関係を通じて、東洋美術への造詣を深めています。本章では、矢代の美術鑑賞に対する姿勢に大きな影響を与えた原三溪旧蔵品を中心に、矢代と関わりが深い作品を展示します。



1



2



3



4

- 1 重要文化財 孔雀立英園屏風 尾形光琳筆 江戸時代 アーティゾン美術館 【後期】
- 2 重要文化財 始魔天像 平安時代 MIHO MUSEUM 【後期】
- 3 国宝 寝覚物語絵巻(部分) 平安時代 大和文華館 【前期】
- 4 重要文化財 病草紙絵巻断簡「肥満の女」 平安-鎌倉時代 福岡市美術館(松永耳庵コレクション) 【前期】

第二章 欧州留学とボッティチェリ研究

——東洋美術への視点とともに

矢代幸雄はイギリス、次いでイタリアで西洋美術を学び、生涯を通じた恩師となるバーナード・ベレンソンに師事してボッティチェリ研究を深めます。矢代幸雄の研究における新軸には、細部表現への図版を多用した考察と東洋美術との表現上の比較が挙げられます。

サンドロ・ボッティチェリ「プリマヴェーラ(春)」
(1482年頃 203×314cm)は実物大複製を展示!
(原作品はイタリア・ウフィツィ美術館所蔵)



第三章 国際的視野から見た日本・東洋美術

——ロンドン・中国芸術国際展覧会と東洋美術研究

1935-1936年にイギリス・ロンドンで開催された中国芸術国際展覧会は、北京から南遷していた故宮博物院の文物などが展示され、欧米に中国美術への大きな反響をもたらします。この展覧会には日本からも作品が運ばれて出陳されています。矢代幸雄は日本での外国委員(foreign general committee)となり、ロンドンで中国美術についての講演を行っています。この出来事は、矢代にとってとくに中国美術への深い関心を持つきっかけになりました。



中国芸術国際展覧会
(1935-36年)の展示会場にて「饗養文方壺」と矢代幸雄(左から2番目)。
写真:個人蔵



5



6



7



8

- 5 重要文化財 饗養文方壺 中国・殷時代 根津美術館
- 6 重要文化財 銀人立像 中国・戦国時代 永青文庫 【後期】
- 7 重要美術品 三彩鴨形容器 中国・唐時代 静嘉堂文庫美術館 画像提供:(公財)静嘉堂/DNPartcom
- 8 重要文化財 竹雀図 伝牧谿筆 中国・元時代 根津美術館 【後期】

第四章 矢代幸雄と大和文華館

——東洋美術へのまなざしとコレクション

欧州留学から帰国した矢代幸雄は、政府の委託を受けて欧米で日本美術展を開催する仕事を行う傍ら、中国へも足を運び、自らが文化や美術に接しています。その後、近畿日本鉄道社長であった種田虎雄との知遇により、財団法人 大和文華館(現・公益財団法人 大和文華館)設立に携わり、コレクションの蒐集をまかされ、初代館長を務めました。「美の殿堂」として、矢代幸雄が理想とする美術館設立のために蒐集された東洋美術作品は、これまで矢代が培ってきた東洋美術への造詣が反映されています。



9



10



11

- 9 重要文化財 廬山図 玉潤筆 中国・南宋時代 岡山県立美術館 【前期】
- 10 色絵おしとり香合 野々村仁清作 江戸時代 大和文華館
- 11 重要文化財 中村内蔵助像 尾形光琳筆 江戸時代 大和文華館 【後期】

特別展 没後50年 矢代幸雄と大和文華館

— 芸術を愛する喜び —

休館日：毎週月曜日(5月5日(祝)は開館し、7日(水)が休館)
 開館時間：午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
 入館料：一般 1,100円 高校・大学生 770円 小学・中学生 無料
 ※20名以上の団体は相当料金の2割引・1名無料
 ※「障がい者手帳」をお持ちの方とご同伴者1名まで2割引

*Yukio Yashiro and the Museum Yamato Bunkakan
 at His 50th Death Anniversary: The Joy of Loving Art*

A history of East Asian art research by an art historian who loved art, and whose ideal was to create a museum where people could view artworks while enjoying the beauty of nature.

Yukio Yashiro was an art historian who researched Botticelli's works. He compiled an East Asian art collection that has become the core exhibit of the Museum Yamato Bunkakan, where he served as its first director. The exhibition traces the footsteps and viewpoints of studies on East Asian art from Yashiro's perspective of appreciation of art.



国宝 雪中歸牧圖(右隻) 李迪筆 中国・南宋時代 大和文華館【後期】



国宝 一字蓮台法華經(部分) 平安時代 大和文華館【後期】

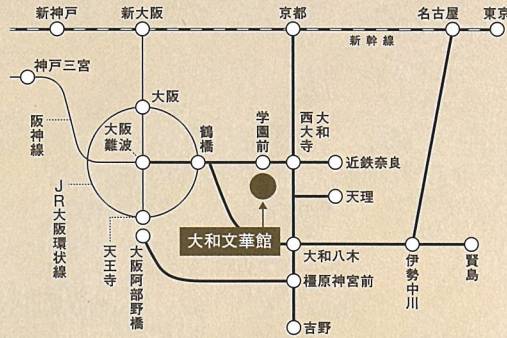


重要文化財 扇面貼交手筥 尾形光琳筆 江戸時代 大和文華館【後期】

- [講演会]…………… 4月20日(日)午後2時 講堂「矢代幸雄—美術で東西を橋渡す試み」 千葉市美術館館長 山梨絵美子氏
 [定員]当日先着100名(予約不要)
- [日曜美術講座]…………… 5月11日(日)午後2時 講堂「大和文華館初代館長 矢代幸雄と東洋美術」 当館学芸部課長 瀧朝子
 [定員]当日先着100名(予約不要)
- [列品解説]…………… 毎週土曜日 午後2時 当館学芸部による
- [無料招待デー]…………… 5月8日(木) 財団法人設立記念日



近鉄・奈良線(学園前駅)下車、南出口より徒歩約7分、無料駐車場あり



大和文華館

奈良・学園前

THE MUSEUM YAMATO BUNKAKAN
 NARA・GAKUENMAE

〒631-0034 奈良市学園南1-11-6
 TEL (0742) 45-0544 FAX (0742) 49-2929
 近鉄・奈良線(学園前駅)下車 徒歩約7分

大和文華館ホームページ
<https://www.kintetsu-g-hd.co.jp/culture/yamato/>

@yamatobunkakan

